

**「ブロードバンド・インターネットの料金及び利用意向に関する調査結果」
～ 料金の日米格差はほぼ解消 ～**

株式会社 情報通信総合研究所(東京都港区南青山1-12-31、代表取締役社長:小原暉章)は、ブロードバンド・インターネットの料金の変動並びに、ユーザの利用意向についての調査を行い、その結果をまとめました。

本調査では、

- (1) 日本と米国の個人向けブロードバンド・インターネットの料金についての比較調査
 - (2) ブロードバンド・インターネットの利用意向についての個人ユーザのアンケート調査
- の2点を実施いたしました。

調査研究結果のポイント

(1) 日本と米国の個人向けブロードバンド・インターネットの料金についての比較調査

(1) - 1 . 値下げにより、料金の日米格差はほぼ解消

日本のブロードバンド・インターネット・サービスの相次ぐ料金値下げにより、米国との差は殆ど無くなり、ADSLは日本の方が安価になっています。([詳細別紙 1 参照](#))

(2) ブロードバンド・インターネットの利用意向についての個人ユーザのアンケート調査

(2) - 1 . ユーザのネット高速化に対する利用意向は、今年に入り、急速に高まっている
ブロードバンド・インターネットの利用意向は昨年調査よりも大幅に上昇し、利用開始希望時期も早まっています。
([詳細別紙 2 参照](#))

(2) - 2 . ユーザは、料金値下げを評価

値下げは、ユーザに評価されており、ブロードバンドの利用を促進しています。
([詳細別紙 3 参照](#))

(2) - 3 . 今後の課題は、セキュリティの確保と、コンテンツの拡充と流通のための環境整備
今後、いっそうの利用促進を進めるためにクリアすべき要因は、個人情報保護等のセキュリティの確立と、魅力的で低価格のコンテンツの充実、並びにその流通のための環境を整備することと考えます。また、その基盤となる著作権保護等の問題も課題となり得ると考えます。
([詳細別紙 6、7 参照](#))

調査結果

(1) - 1 . 日本と米国の、ブロードバンド・インターネット・サービスの料金推移

昨年来、日本と米国では、ブロードバンド・インターネットの料金について全く逆の現象が起っています。

日本では値下げが、米国では値上げが実施されています。その結果、これまで大きいとされていた日本と米国の料金格差が大幅に縮小されています。特にADSLについては、逆転し、日本の方が安くなっています。

([別紙 1 参照](#))

(2) - 1 . ユーザのブロードバンド・インターネットへの意識の変化

ブロードバンド・インターネットの利用意向、利用開始希望時期について、2000年10月と2001年6月の調査結果を比較しました。

ブロードバンド・インターネットの利用意向は、下記に示す変化が生じています。

([別紙 2 参照](#))

利用したい : 約62% (昨年) 約73% (今年)
利用したくない : 約36% (昨年) 約 2% (今年)

利用したい時期についても、下記の様に早い時期での利用開始を希望する層が増えています。

(別紙4参照)

すぐに利用したい : 約15% (昨年) 約20% (今年)
1年以内に利用したい : 約10% (昨年) 約17% (今年)

また、ブロードバンド・インターネットに求める速度に関しても、1 Mbps以上を求める層が過半数を、5 Mbps以上でも30%を超え、より高速を望んでいることがわかります。

(別紙5参照)

(2) - 2 . 料金値下げに対するユーザの評価

料金値下げについてのユーザの反応を調査しました。

ユーザは、この料金値下げを評価しており、約35%が、料金が下がったことを、ブロードバンドを利用したい理由に挙げています。

(別紙3参照)

(2) - 3 . 今後の課題

より一層のブロードバンド・インターネットの普及拡大を図るための阻害要因を明らかにするため、ユーザがブロードバンドの利用を考える際に何が障害になっているかを調査しました。

その結果、次ぎの5点が多く指摘されました。

1. プライバシー、個人情報が保護され、不正侵入等から守ってくれるセキュリティの確保
2. ブロードバンドを生かした、魅力的で、手頃な価格のコンテンツの提供
3. サービス提供エリアの拡大
4. 速くかつ安定した速度の提供
5. サービス変更時のメールアドレスの引継ぎ

(別紙6、7参照)

なお、ユーザの関心はさほど高くはありませんが、著作権保護やフィルタリング等、サービス普及のために解決すべき問題は残っております。

弊社では、今後もインターネット全般、ブロードバンド・インターネットについての各種調査結果を、随時発表させていただきます。

アンケート調査概要

「ブロードバンド・インターネットに関するアンケート調査」

調査期間 2001年6月
調査方法 電子メールアンケート
サンプル数 1,097 (回収ベース)

(参考 昨年度アンケート調査概要)

「インターネットベンチマーク調査」

調査期間 2000年10月
調査方法 訪問留置き法
サンプル数 1,244 (回収ベース インターネット利用者のみ)

< 株式会社情報通信総合研究所 > 概要

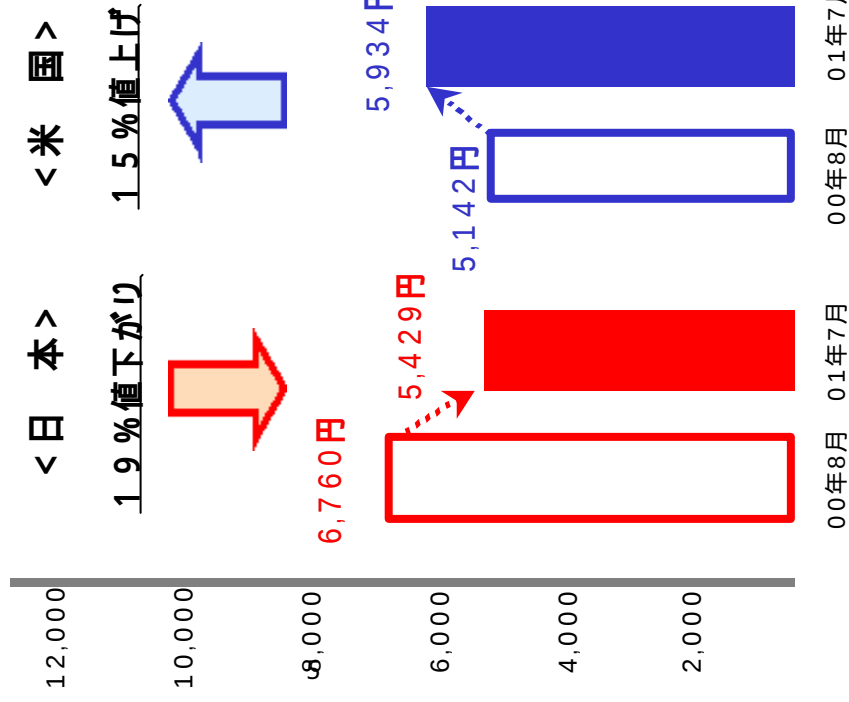
1985年6月に電気通信総合研究所(現財団法人国際通信経済研究所)から分離、設立されました。国内外の情報通信に関する調査・研究を専門としたシンクタンクとして、国、地方自治体、情報通信関連企業から調査・研究プロジェクトを受注、コンサルティングを行う等、多方面から高い信頼をいただいております。弊社ホームページ : http://www.icr.co.jp/index_j.html

【お問い合わせ先】

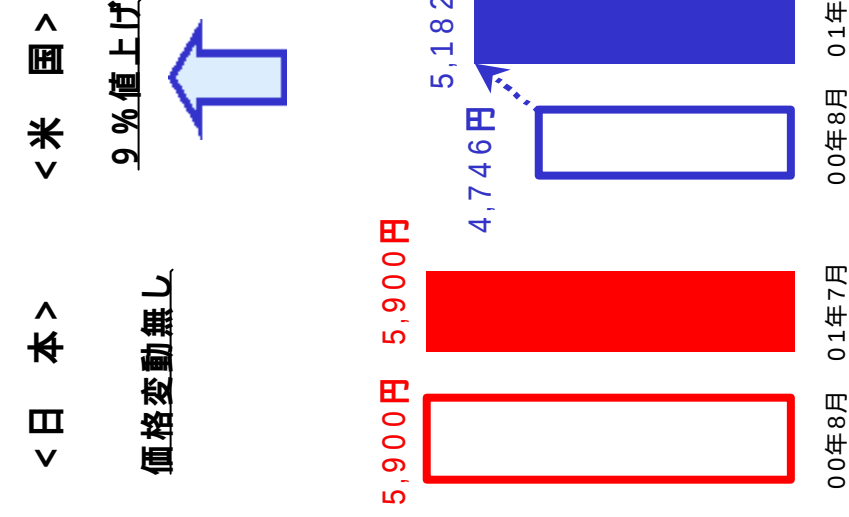
株式会社 情報通信総合研究所
通信事業研究担当 須田 英二
電話 : 03-3470-7556
メールアドレス suda@icr.co.jp

ブロードバンド・インターネット 日米料金比較

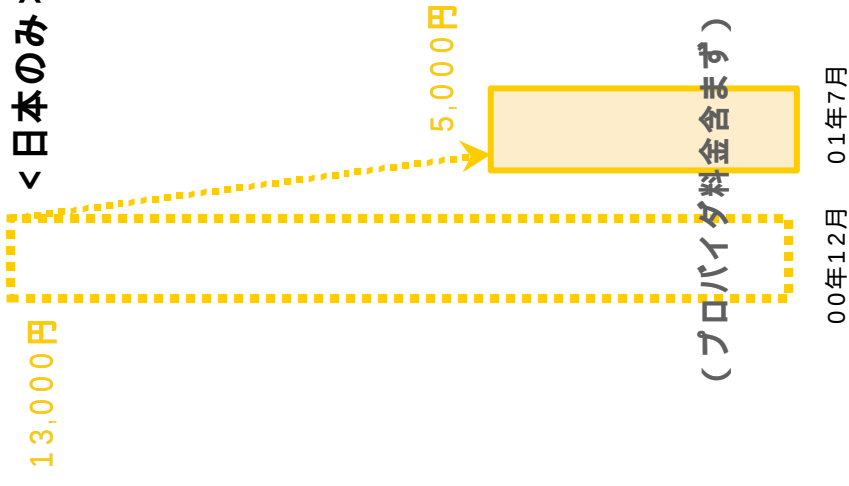
ADSL 料金比較



CATVインターネット料金比較



光ファイバ・インターネット料金



注1）料金は、上位3社の最安値の平均値（日本）ADSL：NTT地域会社、東京あたりく通信、イーアクセス、CATVインターネット：J-COM、東急ケーブル、関西マルチメディアサービス（名称はいずれも略称）
（米国）ADSL：SBC、Verizon、Covad CATVインターネット：AT&T、Time Warner、Cox

注2）ADSLの料金計算の際のプロバイダは、NTT地域会社：WAKWAK（2000年11月まで）、ぷらら（2000年12月以降）、イーアクセス：ニフティ

注3）2001年6月11日までの各社発表資料により作成 2001年7月の価格は予測

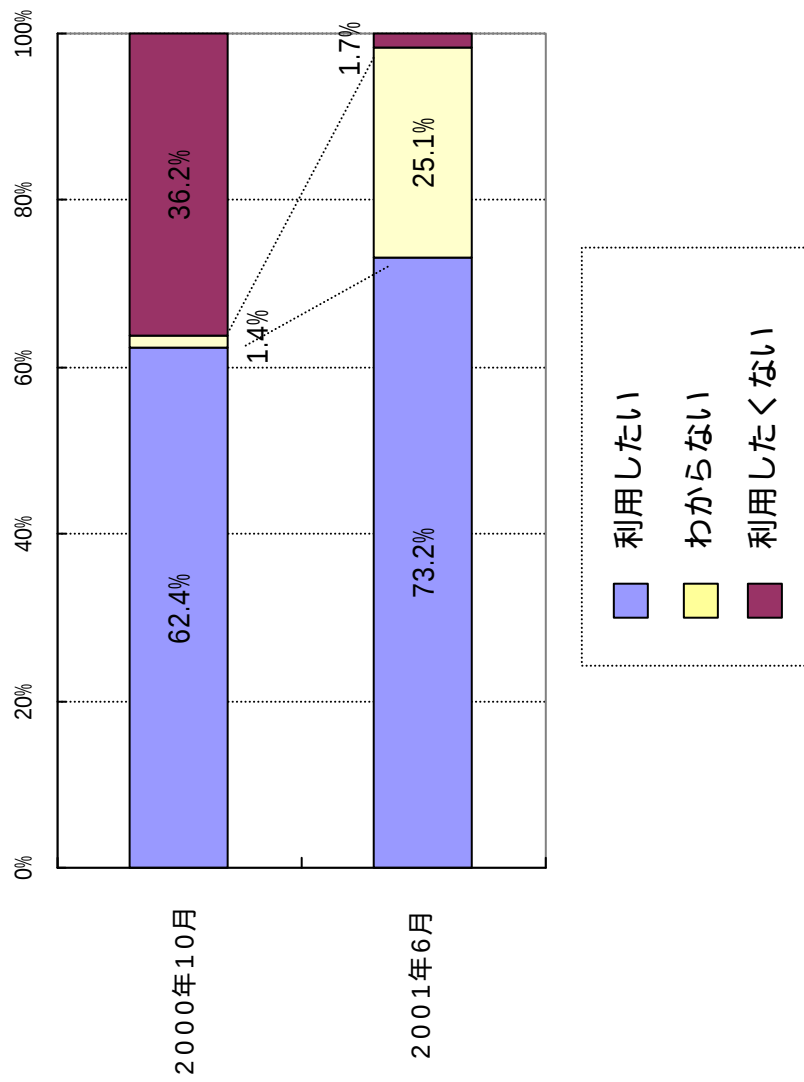
注4）為替レート 1ドル＝118.80円（2001年6月1日東京市場）

出所：各社発表資料を元に株式会社情報通信総合研究所にて作成

ブロードバンド・インターネット 利用意向の変

利用したい層は増加 利用したくない層が大幅に縮小

問 ブロードバンド・インターネットを利用したいと思いますか？

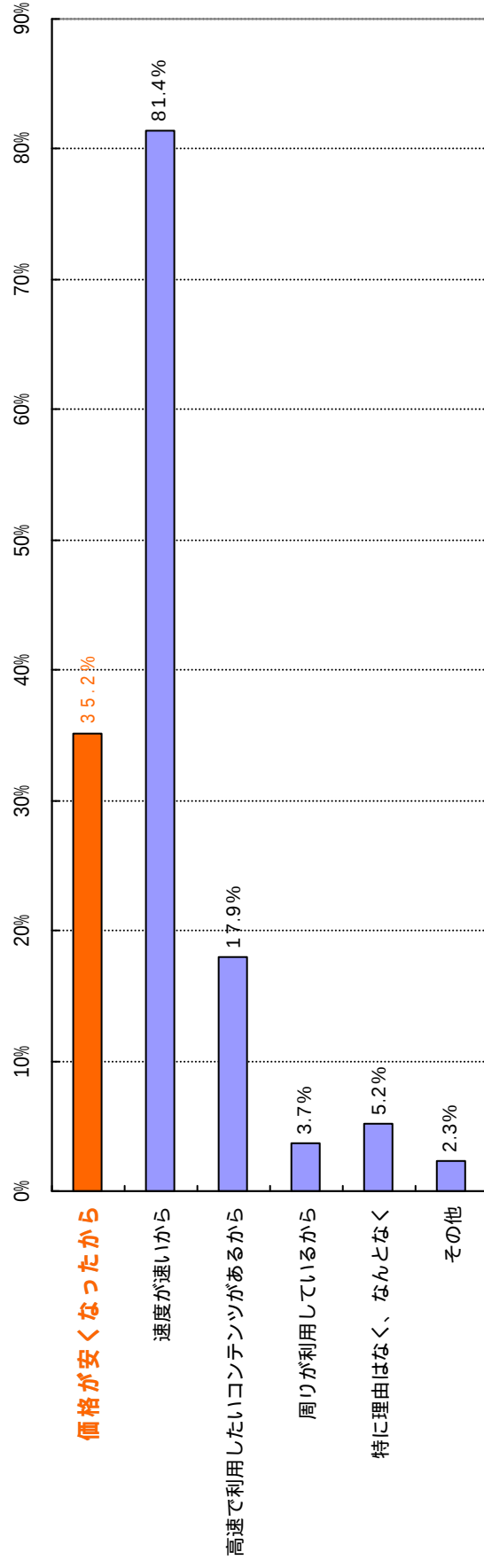


（SA N = 1211（2000年10月） N = 947（2001年6月））

ブロードバンド・インターネット 値下げへの評価

値下げが利用促進の理由に

問 ブロードバンド・インターネット・サービスを、利用したいと思う理由は何ですか？



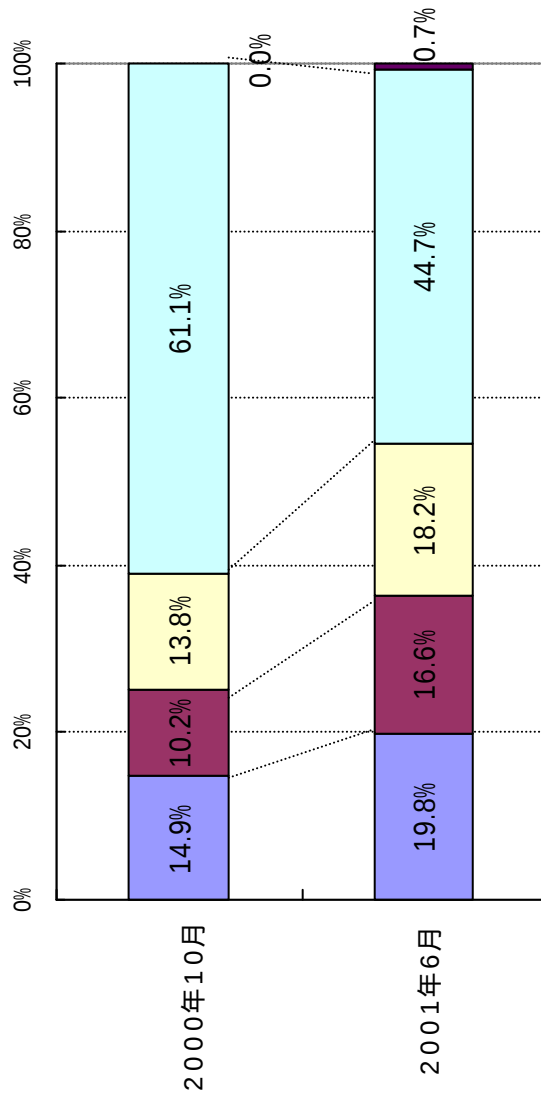
ADSL、CATVインターネット、光ファイバによるインターネット毎の設問の解答を合計したもの

（MA N = 1644）

ブロードバンド・インターネット 利用開始希望時期

「すぐに」「１年以内」の早期開始希望層が増加 時期未定は減少

問 「利用したい」と回答された方にお聞きします。いつ頃から、利用を開始したいと思いますか？



- すぐに利用したい
- １年以内に利用したい
- サービスが開始され次第、利用したい
- 時期は未定だが、利用したい
- わからない

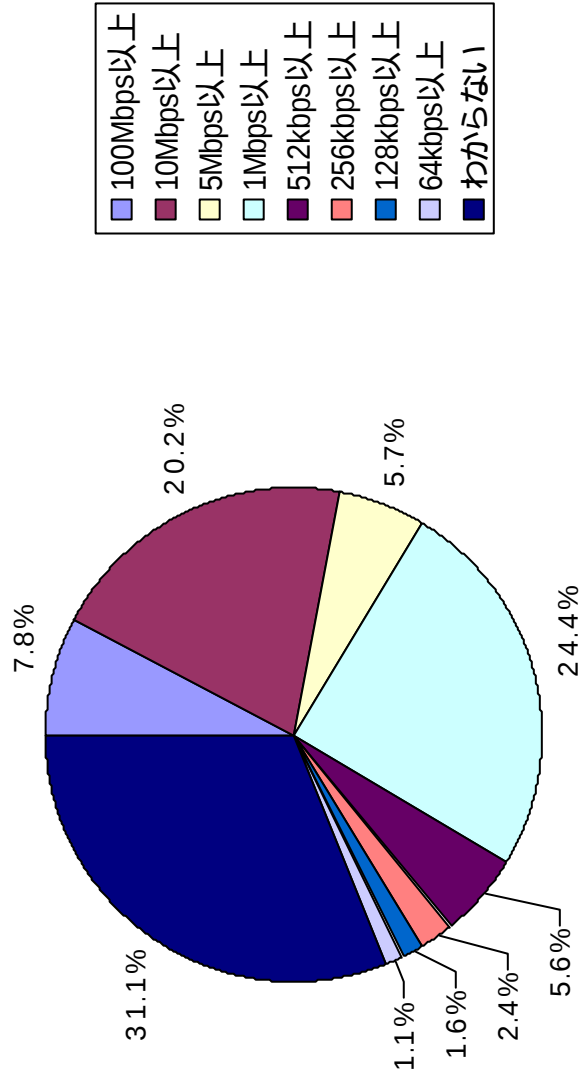
（ＳＡ Ｎ＝７５６（２０００年１０月） Ｎ＝６９３（２００１年６月））

出所：株式会社情報通信総合研究所

ブロードバンド・インターネット 求められる速度

1M以上を望む層が、過半数を占める 5M以上でも30%を超える

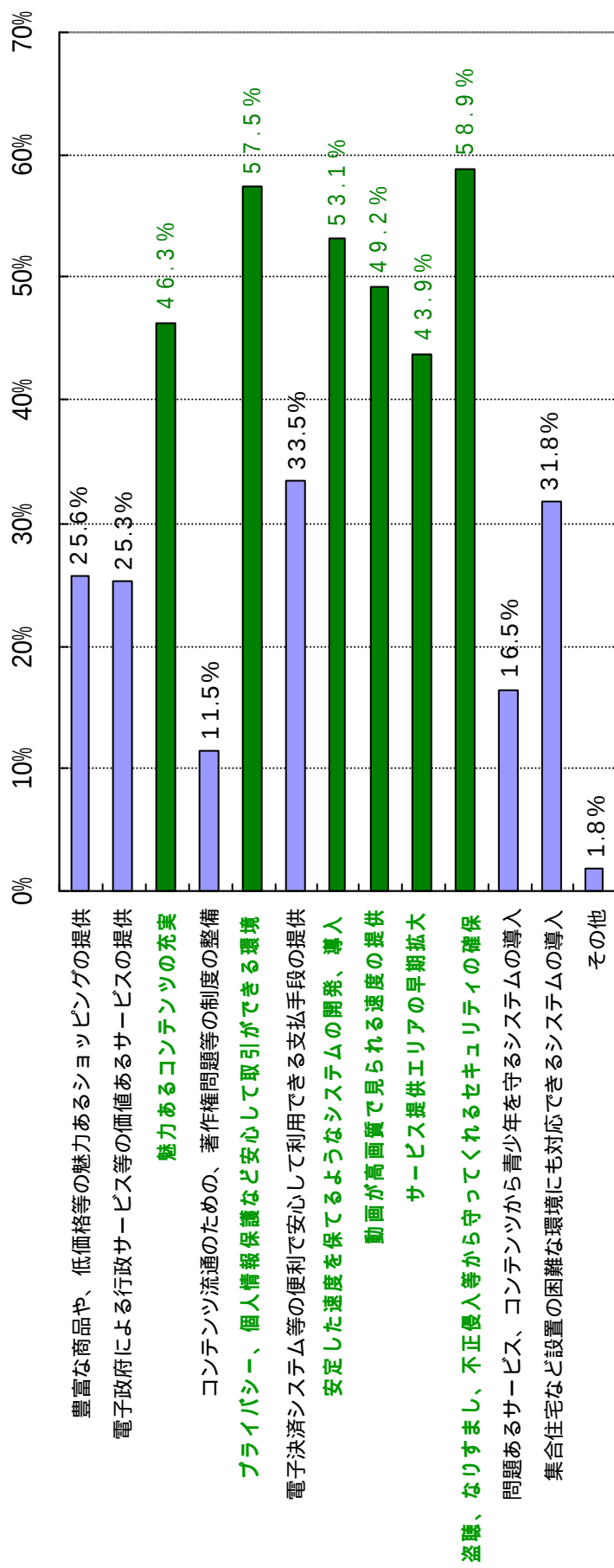
問 「ブロードバンド」とは、どの程度の速度と考えますか？



ブロードバンド・インターネット 今後の課題

セキュリティの確保が、最も対応を望まれている コンテンツの拡充も多い

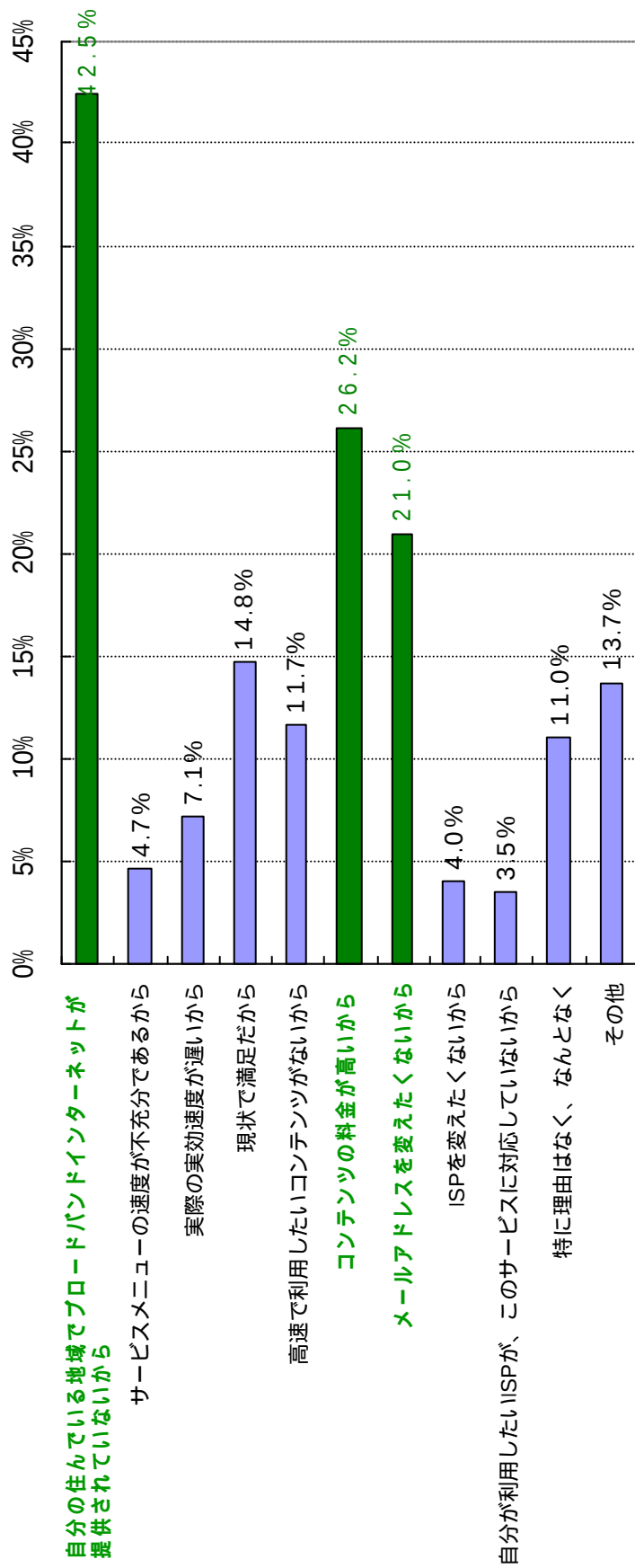
問 月額料金以外で、今後ブロードバンド・インターネットに関して、改善して欲しいことは何ですか？



ブロードバンド・インターネット 未利用の理由

提供されていないこと、コンテンツの料金が高いことが上位の理由

問 月額料金以外で、ブロードバンドインターネットをまだ利用していない理由は何でしょうか？既にブロードバンドインターネットをご利用の方は、ご利用を開始する前の理由をお答え下さい。



(MA N = 1097)